

## ① 題：「土の器に注がれる聖霊」(38 分)

230513

説教者 : 花田憲彦

聖書朗読 : 使徒行伝 14 章 1～3 節

瞑想の言葉 : E・G・ホワイト「患難から栄光へ」第 18 章

「どの時代でも、どの国でも、神の使命者たちは、天の光を故意に拒もうとする人々からの激しい反対に会うよう定められてきた。しばしば誤報や虚偽のために、神の使命者が人々に接近できるはずの戸が閉ざされ、福音の敵のほう勝利したかのように見えることがある。しかし、これらの戸が永久に閉ざされていることはできない。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 112 番

終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 308 番

## ② 題：「終わりとはじまり」(31 分)

240316

説教者 : 伊藤 滋

聖書朗読 : 使徒言行録 20 章 24 節

瞑想の言葉 : ヘブル人への手紙 11 章 13 節 (リビングバイブル)

「信仰に生きたこの人たちは、神様が約束されたものを手にしてから、死んだのではありません。しかし彼らは、約束のものが待ち受けているのを見て、心から喜びました。この地上がほんとうの故郷ではなく、自分がほんのつかの間、ここに滞在する旅人にすぎないことを、自覚していたのです。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 120 番

終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 384 番

## ③ 題：「二つのものを一つに」(37 分)

241214

説教者 : 伊藤裕史

聖書朗読 : エフェソの信徒への手紙 2 章 14～17 節

瞑想の言葉 : E・G・ホワイト「患難から栄光へ」第 17 章

「異邦人に対する使徒たちのたゆまぬ伝道により、『以前は遠く離れて』いた『異国人』や『宿り人』たちは、自分たちが『キリストの血によって近いものとなった』こと、また、キリストのあがないの犠牲を信じる信仰により、自分たちも『聖徒たちと同じ国籍の者であり、神の家族』になることができることを知った(エペソ 2:12、13、19)。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 114 番

終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 238 節

### ◆お知らせ

アドベンチストメディアセンターホームページ (<http://www.adventistmedia.jp/video/worship/>)  
に礼拝プログラムのファイルを公開しております。週報の作成などご利用ください。